



さあ
勇者様…♡



まずは貴方の
婚約者である
リンセから

お相手
頂けますか？

ああ…
なんで…
どうして…



どうして
こんな
事に…!?

魔王討伐の
吉報が入って
数日の事—



私は
お母様と共に

今は亡きお父様の
墓参に向かい…

う…



その道中



魔王軍の
残党からの
襲撃に遭った



やあやあ

いやあああ!!
リンセツ!!

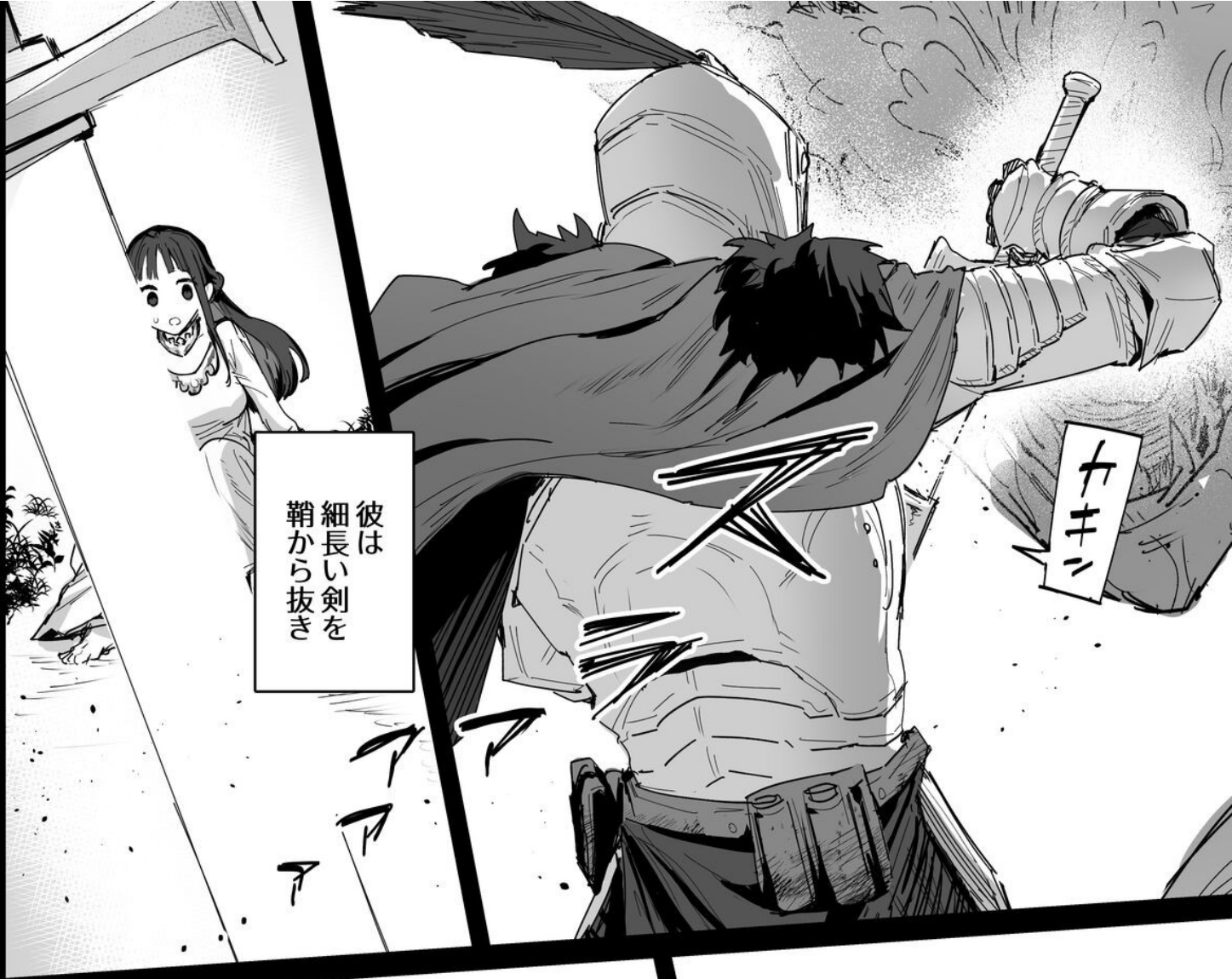
お願い…!!

誰か…!!

誰か
助けてえっ!!

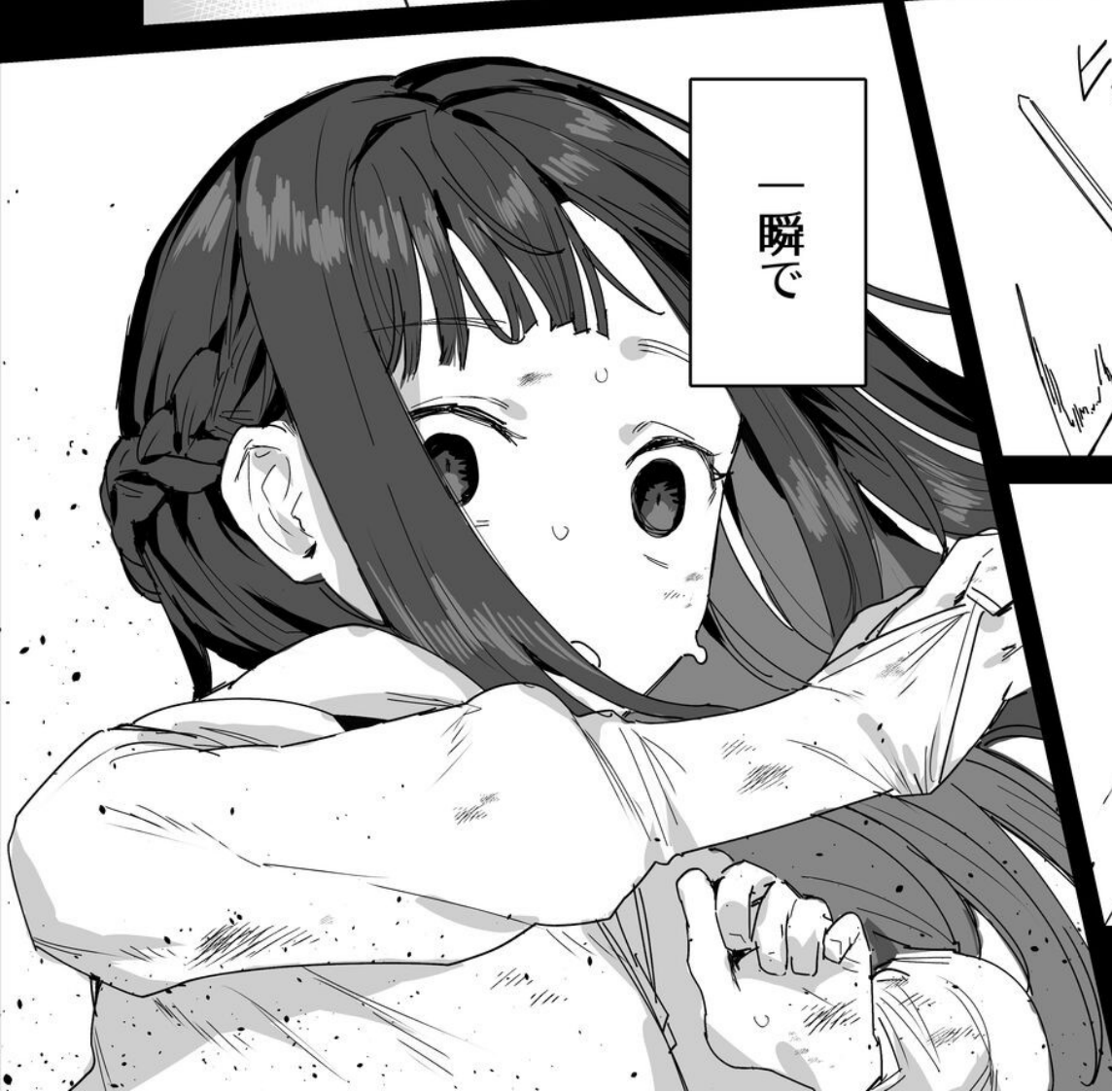
其処に

彼は
現れた



彼は
細長い剣を
鞘から抜き

ナギン



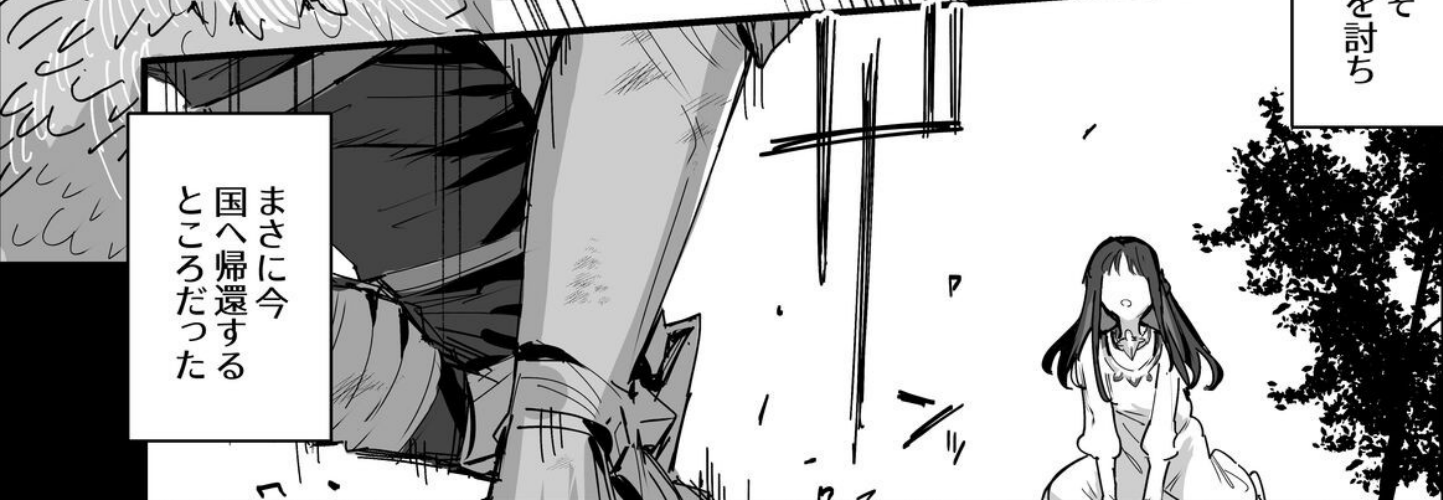
一瞬で



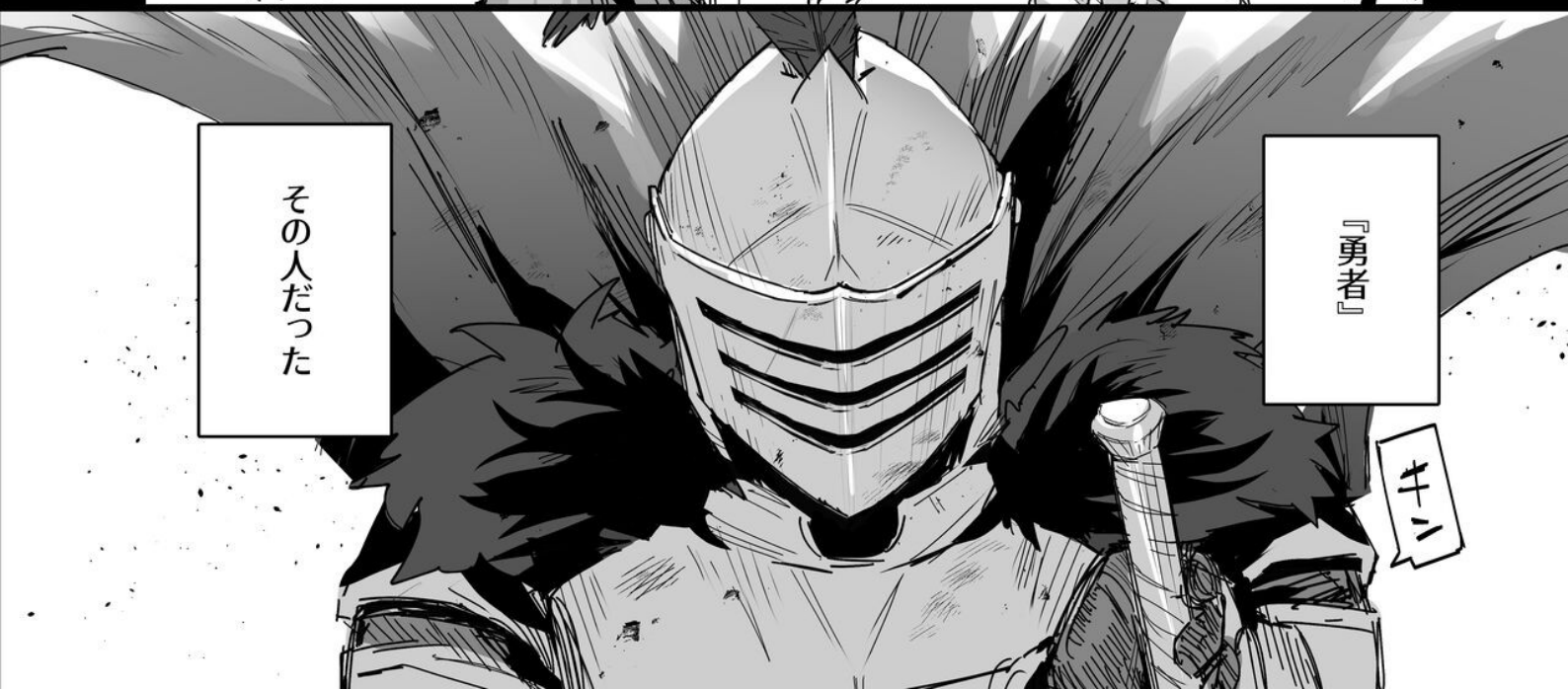


目の前の
巨大な竜を
仕留めてみせた

彼こそ
魔王を討ち



まさに今
国へ帰還する
ところだった



『勇者』

その人だった

キン



……あ……
ありがとう……

……どうも……

なんて……

ガッ

ズ



なんて
強くて……

気高い男性
なんだろう……

その出会いは
箱入り娘の
私にとって

あまりにも
刺激的だった



……そして――

……この度は
魔王討伐の上

娘の命までも
お救い下さり

国を代表して
改めてお礼
申し上げます……

偉大な功績を称え
この国の最高位の
勲章を授与する
と共に…

魔王を討伐した
者は王族に…

つまり私との
婚姻が認められる

あの方と
だったら
私は…

こんな形で婚姻を
決められるなんて
不本意だったけど…

…私からも
是非お礼をと
思いました…

その…
少々たるんで
醜い体では
ありますが…

ん…?



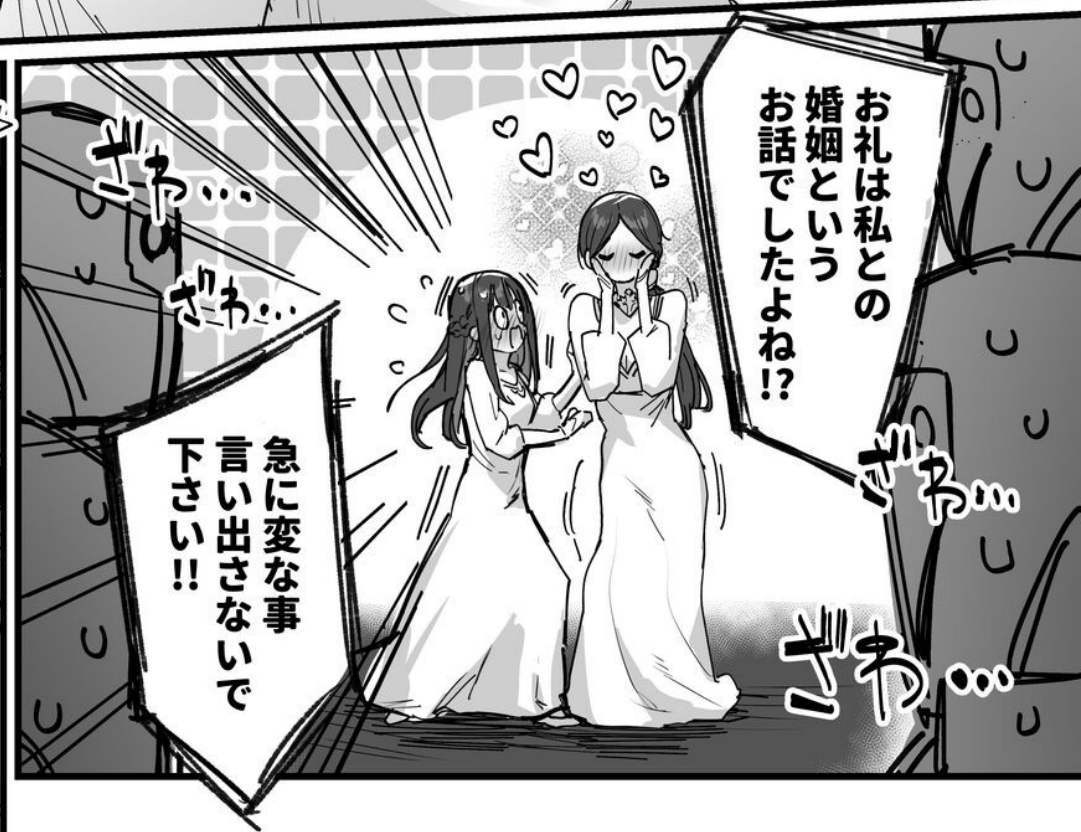
今晚…
この身を
貴方様に…

お母様!?



すみません
勇者様…!!

母が…



おれは私との
婚姻という
お話でしたよね!?

急に变な事
言い出さないで
下さい!!

ざわ...

ざわ...

ざわ...

ざわ...

よろしくおねがいします!

少々
取り乱し...

ガ
シャ
ガ
シャ

ガ
シャ
ガ
シャ

何だこの
インコ野郎!?

ホントに
あの男者か!?

ごうごう——

なんやかんやで
こんな事態に…

勇者様♡

リンセは初めて
ですから優しくして
あげて下さいね♡

じゅ…

ちよ…!?
勇者様…!?

お顔が
近すぎま
せんか…!?

そんなこと
まだまだ…

ゆっくり
時間をかけて
濡らして
いきましよう♡

にゅが…♡

にゅ…♡





ふふ…♡
とっても
可愛いらしい
ですよリンセ♡

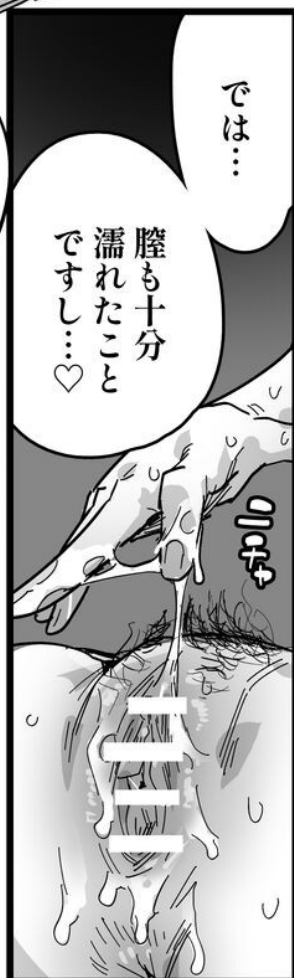
うう…♡



「挿入」♡

しちやい
ましようか♡

！



では…

膣も十分
濡れたこと
ですし…♡

うや

三三





ほらっ♡
勇者様♡

いつでも
出しちゃって
下さい♡

だ
出す…
って…!?

あう
なに!?

急にっ…

だめっ!!
そんな
激しく
されたら…

ああ

ああ

ああ









お母様!?
お母様!?

大丈夫
ですか!?

ああ
リンセ♡

はしたない姿で
ごめんなさいね♡

いや...!!
はしたない
というか...
奇怪というか...

あらやだ
奇怪
だなんて

これも歴とした
性行為ですよ?

もちろん
お力の強い勇者様
だからこそできる
体位で...



きゃあ
ああっ!!

ズボ
ズボ

ズボ
ズボ



お母様の
言った事は

今の行いと
完全に矛盾
しているが

今更
どうでも
よかった

そんな事
よりも

この目の前の
大人二人の
淫らな姿に



私は
夢中に
なつた





